**勝手表彰・受賞者一覧**

2013.3.13

利活用・普及委員会では、オープンデータに関する優れた取組みを、事務局が候補を収集し、利活用・普及委員会委員が選定して表彰する「勝手表彰」の審査を進めて参りました。この度、審査結果がまとまり、最優秀賞は『データシティ鯖江』と決まりました。

**１．審査結果**

審査結果は、下記の通りです。

|  |  |
| --- | --- |
| 最優秀賞 / Google賞 | データシティ鯖江 |
| 優秀賞 / 日本IBM賞 | 2013 International Open Data Day |
| 優秀賞 | 図書館横断検索サービス「カーリル」 |
| 優秀賞 | Where Does My Money Go? の日本語化と横浜市版の作成 |
| 優秀賞 | 気象庁の一連の取り組み |
| 優秀賞 | あおもり映像コンテンツ・プロモーション |
| 優秀賞 | LODチャレンジ |
| 優秀賞 | CKANを用いたデータカタログサイト |
| 日本マイクロソフト賞 | 横浜オープンデータソリューション発展委員会の活動 |
| 国際大学GLOCOM賞 | 東日本大震災アーカイブほか3件 |
| ソフトバンクテレコム賞 | エレクトリカル・ジャパン |
| 全国地質調査業協会連合会賞 | 流山市/流山市議会の取組み |
| Open Knowledge Foundation Japan賞 | 電脳みやしろ |

**☆受賞者について**

各受賞者の概要は下記をご参照ください。

| **受賞作品名** | **概要** |
| --- | --- |
| [データシティ鯖江](http://www.city.sabae.fukui.jp/pageview.html?id=11552) | データシティ鯖江として、様々なデータをXML等の形式で公開。 ・避難所の施設名、位置情報 ・消火栓の名称と位置情報 ・市が運営するコミュティバス「つつじバス」の運行情報 ・西山動物園の動物情報 ・鯖江市内の文化財の写真、説明 ・市内の農産物直売所 ・鯖江市議会議員の情報など |
| [2013 International Open Data Day](http://odhd13.okfn.jp/) | 2013年2月23日に世界中の都市で、オープンデータイベントを開催。日本では、東京、横浜、千葉、名古屋/東海、鯖江、青森、会津若松などで開催。 |
| [図書館横断検索サービス「カーリル」](http://calil.jp/) | 全国6,000以上の図書館の蔵書・貸出情報を横断検索可能。APIも提供しており、様々なアプリが開発されている。 |
| Where Does My Money Go? の日本語化と  横浜市版の作成 | イギリスの Open Knowledge Foundation が開発した Where Does My Money Go? (英語版) をベースに日本語化し、さらに横浜市民が横浜市に納めている市税を対象として構築。自分の年間総収入をスライドで設定し、単身世帯か扶養一人世帯かを選択すると、給与所得者であるという前提で、横浜市に納めている市税年総額と10分野毎に一日当たり支払っている市税額が表示される。 |
| [気象庁の一連の取り組み](http://www.jma.go.jp/jma/index.html) | 気象統計データなどをウェブサイトで公開。2012年12月からは防災情報XMLフォーマット形式電文を試験的にサイトで公開。2012年11月～12月にはコンソーシアム等と協力して、気象データアイデアソン/ハッカソンを開催。 |
| [あおもり映像コンテンツ・プロモーション](http://www.pref.aomori.lg.jp/amcp/) | 観光プロモーションに活用できる映像素材を県職員が自ら撮影し、YouTube等に公開。二次利用可能な独自の利用規約を作成し、幅広く活用されることを目指している。 |
| [LODチャレンジ](http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2012/) | 2011年に続き2回目の開催。データセット部門、アイデア部門、アプリケーション部門、ビジュアライゼーション部門の4部門に対し計205作品の応募があった。3/7に表彰式を行う予定。 |
| CKANを用いた  データカタログサイト | データポータルソフトウェアであるCKAN(http://ckan.org)を用いて、日本のデータカタログをまとめたサイトを構築。現在、有志のコミュニティで運営。2013年1月31日現在、オープンガバメントを推進している地方公共団体のデータを中心に、125のデータセットを掲載。 |
| 横浜オープンデータ  ソリューション発展委員会の活動 | 横浜から世界に向けてオープンデータによって成長・発展する新しい都市の姿を発信していくことを目的として設立。アイデアソンやハッカソンの開催、情報発信など積極的に活動。 |
| [東日本大震災アーカイブほか3件](http://nagasaki.mapping.jp/p/japan-earthquake.html) | 震災の被害状況を可視化し、災害の実相を世界につたえる多元的デジタルアーカイブズ。個別に存在していた被災地の写真、パノラマ画像、被災者の証言、TV報道映像、ジオタグ付きツイート等のデータを一元化し、Google Earthの三次元地形に重ね、俯瞰的に閲覧することができる。さらにタイムスライダー機能を備えており、震災発生後の時間経過に沿って資料を閲覧することも可能。データをiPhoneのARビューで閲覧できるアプリもリリースしている。 |
| [エレクトリカル・ジャパン](http://agora.ex.nii.ac.jp/earthquake/201103-eastjapan/energy/electrical-japan) | 東日本大震災後の日本の電力事情を理解するための電力データ集約・可視化サイト。電力の供給に関するデータとしては、日本全国約3300ヶ所の発電所の位置や出力を独自に調査してデータベース化するとともに、各電力会社が提供するリアルタイム電力供給データをアーカイブして利用。一方電力の需要に関するデータとしては、日本全国の電力消費を象徴するデータとして夜間照明光を観測した衛星観測データを可視化することで、電力供給を象徴する発電所の分布と比較できるようにした。また電力需要に関係する気象データ（アメダス気温・日照時間）も電力データと関連付けて利用できるようにしている。さらに経済産業省資源エネルギー庁や財務省が公開する政府統計データを解析し、グラフなどの形で可視化。データを核としたストーリーを作るデータジャーナリズムの方法論を活用し、日本の電力事情を発電所が開設された歴史のアニメーションで表現したり、電力融通データが示す意味などを解釈したりするなどの試みを行った。 |
| [流山市](http://www.city.nagareyama.chiba.jp/)/流山市議会の  取組み | 市と市議会両方のサイトでオープンデータに取り組んでいる。市議会のサイトでは、議員基本情報や定例会議審議結果などをcsv形式で公開。 |
| [電脳みやしろ](http://www.town.miyashiro.saitama.jp/WWW/tokei.nsf/onwebkaku?OpenPage&Start=10.2&ExpandView) | オープンデータの活動が広がる以前からホームページ上に多様な種類のデータ提供を実施。 |